

長野県宝の指定について

文化財・生涯学習課

文化財保護条例（昭和 50 年長野県条例第 44 号）第 4 条第 1 項の規定により、下記のとおり長野県宝に指定する。

記

長野県宝に指定する文化財（1 件）

名 称	員数	所在 市町村	所有者名称	指定理由	答申結果
しなののくにいいだじょうえ ず 信濃国飯田城絵図	1 鋪	飯田市	公益社団法人 下伊那教育会	<p>○伝存する飯田城最古の城絵図であり、城内の御殿等の建物が詳細に描かれ、また、城内外の武家屋敷や寺院には、坪数、間口、奥行などが記されるなど、江戸時代前期の飯田城と城下町の構造を知ることができる、貴重な資料である。</p> <p>○飯田藩主の交代により絵図が引き継がれた際の変更点を、3色の貼紙と付箋（茶 222 枚、青 133 枚、白 75 枚）で表しているが、ほとんど欠損せずに残っており、資料的価値が高い。</p>	長野県宝に指定することが適当 (R4.8.29 答申)

長野県宝候補物件調査票

- 1 種別 歴史資料
- 2 名称 しなののくにいだじょうえず
信濃国飯田城絵図
- 3 員数 1 鋪
- 4 所在地 飯田市仲ノ町 303-1 (下伊那教育会)
- 5 所有者の氏名又は名称 公益社団法人 下伊那教育会
- 6 管理者の氏名又は名称 公益社団法人 下伊那教育会
- 7 年代 17 世紀後期

8 概要と特色

(1) 概要

本絵図は飯田藩堀家家臣の西尾家に所蔵されていたもので、昭和 12 年 (1937 年) に下伊那教育会に寄贈されたものである。

縦 253 cm 横 301cm の紙本着色の絵図で、短辺約 25cm、長辺約 55 cm の和紙を縦 10 枚×横 6 枚、総数 60 枚を張り合わせているが、裏打ちされ、破損個所には紙を重ねている。また、四辺は断ち切られ「南」の文字の一部が切れている。現状は折り畳まれた状態で保存されているものの状態は良好である。

飯田城絵図は、17 世紀後期の飯田城と城下町を描く。飯田藩主脇坂安政の寛文 12 年 (1672 年) 播磨国龍野への転封に際し、城を受け取った堀家 (2 万石) が、この絵図を家臣団の武家屋敷配置のために使用したと推定される。飯田城を中心に、惣堀内の城と城下町と、慶安元年 (1648 年) に伝馬町の北側、伊那街道沿いに新たに建設された桜町まで描かれた絵図である。追手門内 (城内) の御殿等の建物が詳細に描かれ、また城内外の建造物や武家屋敷、寺院には、詳細に坪数、間口、奥行などが茶色の貼紙に記されている。また、建物には随所に付箋が貼られており、青の付箋には脇坂時代の家中の氏名、知行高など、屋敷地の利用状況が、白の付箋には堀家の家中氏名が記されている。他方、町人地は町割りと通りの名称のみで、屋敷地が描かれていない。制作年代考証の根拠は、上飯田村内に桜町三町が新たに町割される時期、中荒町に千村氏役所が移された時期、出丸に幽閉されていた堀田正信に関する付箋の記事等による。

(2) 候補物件の評価

飯田城については、幕府が諸藩に命じて正保元年 (1644 年) に作成し数年かけて提出させた「正保城絵図」が伝存していないことから、本絵図は江戸時代前期の飯田城や城下町の構造を仔細にうかがい知ることができる貴重な史料である。伝存する飯田城最古の城絵図で、製作目的、伝来も明らかであり史的

価値も高いことから、県宝候補物件としてふさわしいと考える。

9 指定基準および理由

(1) 指定基準

第1 長野県宝の指定基準

文化財保護条例（昭和50年長野県条例第44号。以下「条例」という。）第4条第1項に定める重要なものとは、県の歴史又は文化を知る上に必要なもので、次に掲げるものとする。

(6) 歴史資料

ア 政治、経済、社会、文化等の各分野において、歴史上重要な事象に関する遺品のうち学術上重要なもの

イ 歴史上重要な人物に関する遺品のうち学術上重要なもの

ウ 歴史上重要な事象又は人物に関する遺品で歴史的又は系統的にまとまって伝存し、学術上重要なもの

(2) 指定理由

- ・江戸時代前期の飯田城と城下町の構造を知ることができる、貴重な資料である。
- ・藩主の交代により絵図が引き継がれた際の変更点を3色の貼紙と付箋（茶222枚、青133枚、白75枚）で表しているが、ほとんど欠損せずに残っており資料的価値が高い。

10 調査者及び調査日 吉田ゆり子 令和元年8月1日

11 指定後の保存と活用について

- ・下伊那教育会教育参考館にて保存
- ・史料保存のため原則として非公開
- ・飯田市文化財保護情報サイト「文化財保護いいだ」(<https://www.city.iida.lg.jp/site/bunkazai/>)にて画像等を紹介
- ・博物館等の特別展等での公開（直近では飯田市美術博物館特別展「城下町飯田と飯田藩」9/23～11/6で公開）

12 註及び参考文献

- ・飯田市指定有形文化財（平成20年3月25日指定、名称「飯田城下町絵図」）
- ・令和元年8月1日、文化財保護審議会としての現地調査を実施（吉田委員及び事務局）
- ・参考文献

市村成人「飯田城地図解説」『伊那史叢説 第二編』山村書院、1937年

平沢清人『飯田城と近世の城下町』伊那史学会、1972年

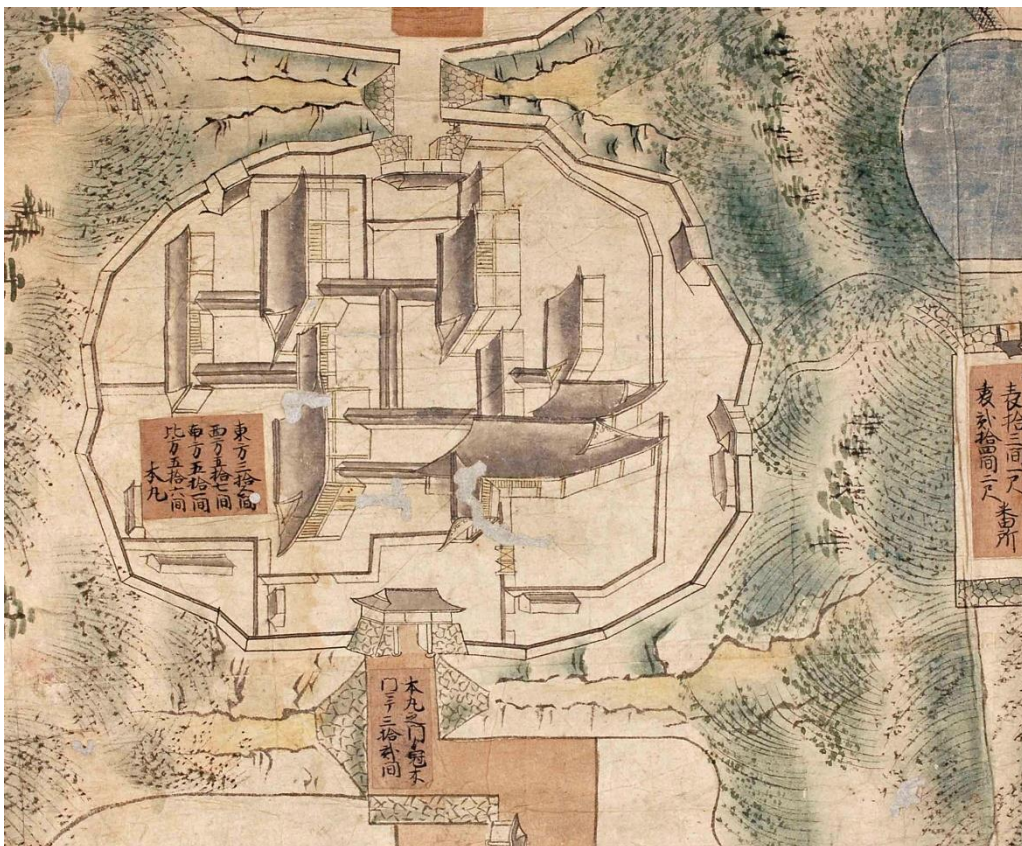
吉田伸之「描かれた城下町飯田」『みるよむまなぶ 飯田・下伊那の歴史』飯田市、2007年

信濃国飯田城絵図（飯田市）

○全 体



○本丸部分

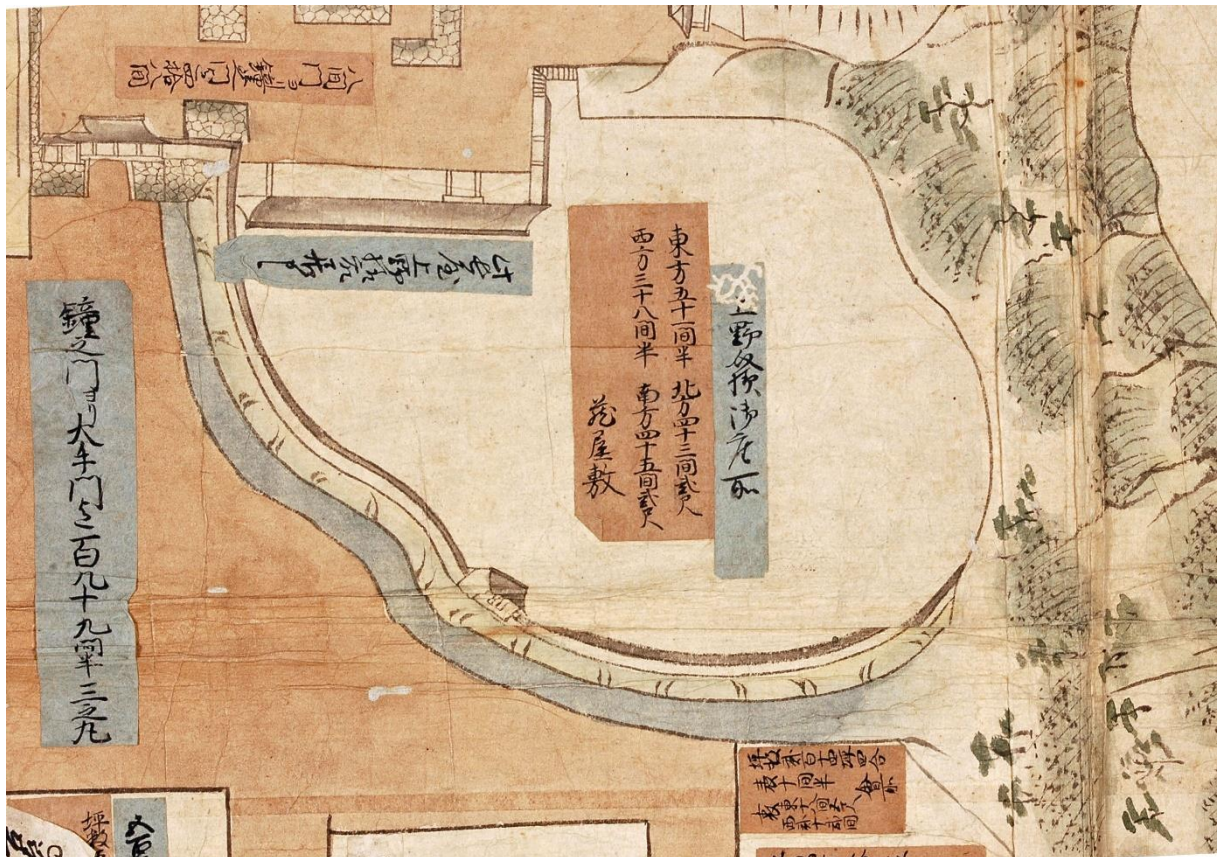


○三の丸部分（3色の貼紙と付箋が残る）

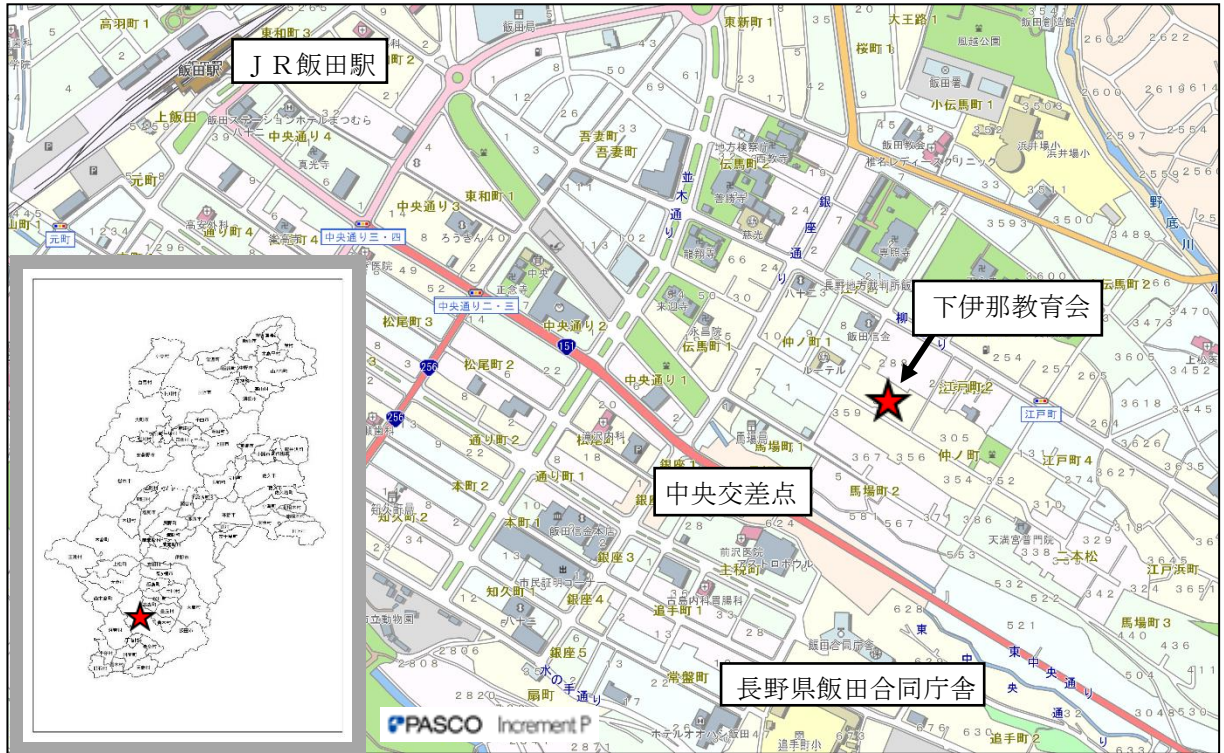


（茶：屋敷地の広さ等 青：脇坂家の家中の氏名 白：堀家の家中の氏名）

○出丸部分



【位置図】信濃国飯田城絵図（飯田市）



長野県宝等の指定までの流れ

